

株主の皆様へ

第63期 中間期のご報告

平成23年4月1日から平成23年9月30日まで



ミシン糸の総合メーカー

株式会社 **フジックス**

証券コード：3600

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第63期中間期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における営業の概況と決算につきまして、下記の通りご報告申し上げます。

平成23年12月

代表取締役社長

藤井 一郎

## 中間期の概要（連結）

中国子会社の堅調と国内子会社の増加で増収となりましたが、震災の影響や国内での先行経費負担もあって利益面の回復は遅れております。

当中間期におけるわが国経済は、未曾有の東日本大震災による景気の落ち込みから一部回復傾向が見られましたが、欧米の財政不安や景気の下降懸念による歴史的な円高と株安の進行等で、再び先行きが不透明な状況となりました。

縫い糸業界におきましては、中国始めアジア諸国とは対照的に、大震災や夏場の電力供給不足などによる消費マインドの回復遅れや、自動車生産の減少等もあって、日本国内での縫製需要やホビー需要は、いずれも低調な状況で推移しました。

このような状況下で、当社グループは、引き続き中長期を見据えたグループの諸課題に取り組みました。これらの結果、平成22年12月に新たに国内連結子会社となった株式会社ニットマテリアルの売上高が加わったことや、中国子会社の受注が堅調であったこと等により、中間期の売上高は、3,157百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

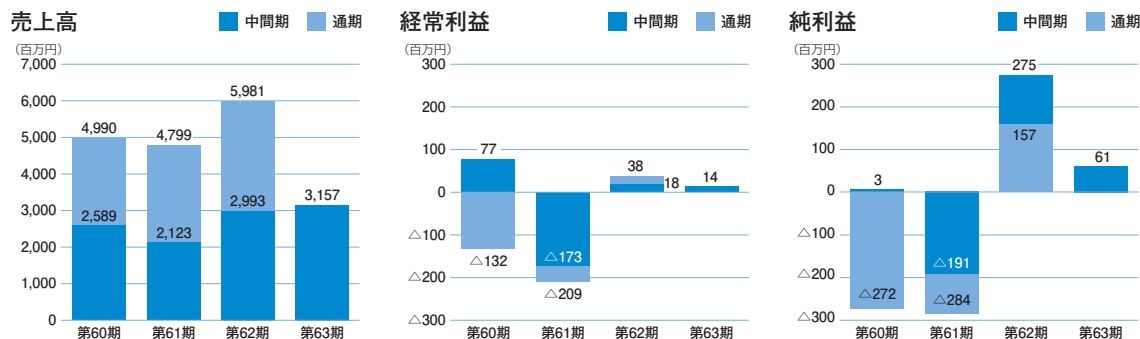
一方利益面は、平成20年末に実施した国内生産拠点の移転統合に伴う償却負担は徐々に減少傾向にあるものの、将来を見据えた経費負担や、国内の人件費の増加もあり、この結果、営業損失は7百万円（前年同期は8百万円の損失）、経常利益は14百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

また中国の連結生産子会社の移転が決定し、これに伴う受取補償金250百万円および資産除去債務戻入額99百万円を特別利益に、また現時点で移転に際して見込まれる損失額85百万円を特別損失にそれぞれ計上したことや、納税額の増加もあって、四半期純利益は61百万円（前年同期比77.8%減）となりました。

なお前年同期には、棚卸資産評価方法変更に伴う影響額356百万円を特別利益に、資産除去債務影響額109百万円を特別損失にそれぞれ計上しております。

また、タイ国サハグループとの合弁契約締結に基づき平成23年6月に設立いたしました合弁販売会社FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltdは、現在開業に向けた準備を進めております。

## 財務ハイライト



## セグメント別の実績

### 日本

東日本大震災直後の消費低迷は徐々に回復傾向が見られたものの、夏場以降は、電力供給不足や、欧州の財政・金融問題に伴う円高や株安による先行きの不透明感もあって、消費マインドの回復は見られません。

家庭用縫い糸のシェア拡大や、新たな国内連結子会社 株式会社ニットマテリアルの売上高が加わるなど、取り組んできた課題の成果も表れつつありますが、東北地区を中心とした縫製業の回復遅れや自動車生産の減少など、長引く震災後の影響もあって当セグメントの売上高は、2,601百万円（前年同期比5.4%増）に留まりました。

一方、上述の通り、国内工場の移転統合による償却負担は、引き続き減少傾向にありますが、将来を見据えた経費負担や、人件費の増加等もあり、当セグメントの営業損失は、87百万円（前年同期は76百万円の損失）となりました。

なお、国内連結子会社は、いずれも事業年度末が1月末日であり、当中間期には、各社の2月から7月までの業績が連結されており、国内連結子会社の震災による影響は、この期間に対応するものであります。

### 中国

中国縫製市場におきましては、人件費の上昇や縫製人員の確保難の状況に若干改善傾向が見られたことや、中・高級衣料品の縫製需要が予想以上に堅調であったことから、当セグメントの売上高は、555百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

また、利益面におきましては、売上高の増加と引き続き高い操業度が維持されていることもあって、当セグメントの営業利益は、102百万円（前年同期比44.5%増）となりました。

なお、中国連結子会社は、いずれも事業年度末が12月末日であり、中間期には、各社の1月から6月までの業績が連結されております。

また、当社の国内連結子会社である株式会社FTCの全額出資の中国子会社 上海福拓線貿易有限公司が、6月より営業活動を開始いたしましたが、当中間期中の売上等販売実績はありません。



## 今後の見通しと当社グループが取り組むべき課題

冬場の電力供給懸念や円高・株安を受けて日本国内の先行きは不透明ですが、中長期の環境を見据えて引き続き当社グループの対処すべき課題を推進してまいります。

今後の見通しにつきましては、中国や東南アジア諸国においても、欧米経済の先行きに対する不安は拭えませんが、縫製業は、当面堅調な状況が続くと思われまます。一方わが国経済は、東日本大震災の個人消費等への影響は和らぎつつあるものの、冬場の電力供給懸念や円高・株安等により、再び先行きは不透明な状況となっております。

当社グループといたしましては、短期的には個人消費の動向やそれに伴うアパレルメーカーや自動車メーカーの生産計画の動向を注視しつつ、業績の回復に努めてまいります。中長期的な事業環境については、当社グループは次のように考えております。

- ① 工業用縫い糸の事業については、衣料用・非衣料用ともに世界の縫製基地となっている中国や東南アジア諸国においては、今後も賃金上昇や縫製人員の確保などの課題はあるものの、経済成長と生活水準の向上に伴い、高品質の衣料品向けや、カーシートなど自動車向けの縫い糸需要の拡大が見込まれるため、今後もアジア諸国での販売拡大が可能である。また近年、海外への生産移転で減少を余儀なくされてきた日本国内や欧米縫い糸市場においても、独自性や機能性の高い縫い糸の開発や高質のサービスの提供などにより、シェアのさらなる拡大が可能である。
- ② 家庭用縫い糸の事業については、近年、国内の手作りホビー分野におけるソーイング（縫い物）需要は漸減傾向が続いてきたものの、一方で少子高齢化などを背景に、「ゆとり」や「和み」、あるいはライフスタイルの多様化に伴う「オリジナリティー」が見直されつつある中、中長期的には、国内における手作り手芸の潜在需要の掘り起こしが可能である。また、欧米市場においては、当社グループのシェアはまだ低く、独自性や機能性の高い縫い糸や刺しゅう糸などの開発によって、シェアの拡大が可能であるほか、経済成長が続くアジア諸国においては、生活水準の向上とライフスタイルの変化に伴い、今後手作りホビー市場の拡大が期待できる。

当社グループは、これらの中長期的な事業環境を踏まえた上で、引き続き下記の諸課題に取り組んでおります。

- ① 連結子会社 株式会社FTCとともに、引き続き技術開発、製品開発に努めるとともに、生産や物流システムのさらなる改善により、コストダウンと納期短縮を始めとする顧客サービスの向上を徹底し、家庭用から工業用まで幅広い品揃えを有するメーカーグループとして競争力の強化を図ること。
- ② 中国の連結子会社との連携はもちろん、タイ国サハグループとの取り組みも早期に軌道に乗せ、中国はもちろん、アジア諸国全体の縫製市場の開拓を一層推し進めること。
- ③ 今後、アジア諸国での生産拡大が見込まれる自動車産業を見据え、カーシート用など自動車関連縫い糸についても、新たな中国の販売子会社と連携して現地での供給体制を構築すること。
- ④ 近年、縮小傾向を余儀なくされてきた国内縫製市場においては、国内連結子会社3社とのシナジー効果を発揮するとともに、新たに開設した東北物流センターを活かして、供給体制やサービスの向上に努め、衣料用・非衣料用ともにさらなるシェア拡大を図ること。
- ⑤ 低迷している手作りホビーの国内市場に対して提案や情報発信を継続し、潜在需要の掘り起こしに努めるとともに、独自の製品開発や蓄積したノウハウを活かして、アジア諸国、欧米など海外手作りホビー市場のさらなる開拓に努めること。
- ⑥ 業界のリーディングカンパニーを目指すべく、経営体質の強化及び人材の育成と活性化を図ること。
- ⑦ 社会的信頼の維持はもとより、環境負荷の軽減を始め、企業としての社会的責任を果たすこと。

当社は、国内連結子会社3社、中国連結子会社5社及び開業準備を進めておりますタイ国の合弁会社共々、グループが一丸となって、これらの諸課題を着実に前進させ、今後も糸の製造及び販売業に徹してファッションや手作りホビーの分野にかかわりながら、業績の回復と将来の成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結会計期末 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成23年3月31日現在)	科 目	当中間連結会計期末 (平成23年9月30日現在)	前連結会計年度末(要約) (平成23年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	7,324,336	7,070,396	流動負債	1,078,096	991,700
現金及び預金	2,681,985	2,923,172	支払手形及び買掛金	592,616	464,607
受取手形及び売掛金	1,551,846	1,508,479	未払法人税等	107,476	20,393
たな卸資産	2,755,292	2,583,044	賞与引当金	68,546	66,392
その他	373,393	93,560	事業所改築関連損失引当金	28,189	111,562
貸倒引当金	△ 38,183	△ 37,860	資産除去債務	—	2,514
固定資産	2,721,738	2,896,139	その他	281,267	326,229
有形固定資産	1,379,702	1,534,355	固定負債	585,613	598,395
無形固定資産	79,008	89,929	長期借入金	53,507	53,235
投資その他の資産	1,263,027	1,271,854	退職給付引当金	72,667	72,910
投資その他の資産	1,268,119	1,274,144	役員退職慰労引当金	154,831	162,692
貸倒引当金	△ 5,091	△ 2,289	資産除去債務	16,913	118,456
資産合計	10,046,074	9,966,536	移転損失引当金	84,872	—
			その他	202,821	191,100
			負債合計	1,663,709	1,590,095
			(純資産の部)		
			株主資本	8,031,752	8,078,375
			資本金	923,325	923,325
			資本剰余金	758,014	758,014
			利益剰余金	6,456,205	6,502,720
			自己株式	△ 105,792	△ 105,684
			その他の包括利益累計額	△ 5,492	19,170
			その他有価証券評価差額金	70,619	104,041
			為替換算調整勘定	△ 76,111	△ 84,870
			少数株主持分	356,104	278,894
			純資産合計	8,382,364	8,376,440
			負債・純資産合計	10,046,074	9,966,536

## 連結損益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		前中間連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	売上高	3,157,205	2,993,967	
売上原価	2,254,100	2,146,895		
売上総利益	903,105	847,071		
販売費及び一般管理費	910,455	855,409		
営業損失	7,350	8,337		
営業外収益	34,463	43,271		
営業外費用	12,661	15,937		
経常利益	14,450	18,995		
特別利益	349,918	383,271		
特別損失	87,451	111,879		
税金等調整前中間純利益	276,917	290,387		
法人税、住民税及び事業税	124,297	11,723		
法人税等調整額	14,539	19,871		
少数株主損益調整前中間純利益	138,080	258,793		
少数株主利益 (△は損失)	76,902	△ 16,399		
中間純利益	61,177	275,192		

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

科 目	当中間連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		前中間連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,772	435,344	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181,704	4,115		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113,902	△ 96,272		
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 709	△ 16,382		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 341,088	326,804		
現金及び現金同等物の期首残高	1,821,172	1,453,806		
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,480,084	1,780,611		

## 連結包括利益計算書

(単位：千円 千円未満切り捨て)

	当中間連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前中間連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	138,080	258,793
その他の包括利益		
その他の有価証券評価差額金	△ 33,421	△ 70,599
為替換算調整勘定	10,851	△ 53,543
その他の包括利益合計	△ 22,569	△ 124,143
四半期包括利益	115,510	134,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,515	164,126
少数株主に係る四半期包括利益	78,995	△ 29,476

# 会社の概要 (平成23年9月30日現在)

## 事業内容

当社グループは、アパレル縫製用及びホームソーイングを始めとする手作りホビー用の縫い糸・刺しゅう糸並びに各種糸の製造、販売を主たる事業としております。また、これらの原材料及び半製品の販売並びに手芸関連商品及び縫製副資材等の販売も行っております。

創設	業立	大正10年(1921年)3月
資本金		923,325,000円
従業員数		157名 *パート24名を含む(連結433名)

## 事業所

本社	管理部・営業本部・研究開発室	京都市北区
東京支店	営業部	東京都台東区
滋賀事業所	生産部・物流部門	滋賀県東近江市
東北物流センター	物流部門	秋田県横手市

## 連結対象子会社

株式会社FTC	(生産会社)	京都 東京 三重 岐阜 福井)
株式会社シオン	(販売会社)	秋田)
株式会社ニットマテリアル	(販売会社)	山梨)
上海富士克制線有限公司	(生産会社)	上海)
上海富士克貿易有限公司	(販売会社)	上海)
富士克国際(香港)有限公司	(販売会社)	香港)
上海新富士克制線有限公司	(販売会社)	上海 大連 南通 広東 南京 寧波 青島 北京)
上海福拓線貿易有限公司*	(販売会社)	上海)

\*上海福拓線貿易有限公司は、株式会社FTC100%出資の子会社(当社孫会社)で、本年4月に設立いたしました。

## 持分法適用会社

FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.\* (販売会社 タイ・バンコク)

\*FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.は、タイ国サハグループとの合弁会社(当社出資比率49%)で、本年6月に設立いたしました。

# 役員 (平成23年9月30日現在)

代表取締役社長	藤井 一郎	
常務取締役	松岡 繁生	営業本部長
取締役	森川 幸俊	生産部長
取締役	山本 和良	管理部長
取締役	森川 昌治	営業本部長代行兼西日本営業部長
常勤監査役	新江 正幸	
社外監査役	中村 利雄	弁護士
社外監査役	中野 雄介	公認会計士

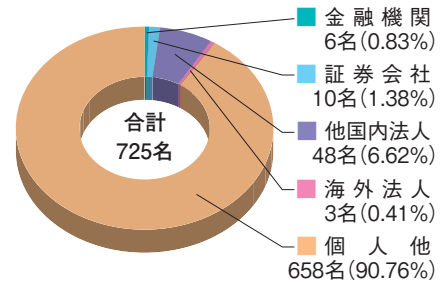


# 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数 19,945,000株  
 発行済株式の総数 7,340,465株  
 株主数 725名  
 大株主

株主名	持株数	出資比率
(株) F J 興産	720千株	10.50%
藤井多鶴子	717	10.46
小原京子	382	5.57
森本町子	328	4.78
鈴木直子	328	4.78
藤井一郎	293	4.27
藤井幸二郎	205	2.99
藤井太郎	200	2.92
藤井眞津子	191	2.79
フジックス社員持株会	187	2.73

株式分布状況



(注) 当社は、自己株式447千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しています。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 基準日 (1) 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
 (2) 中間配当金の支払いを行うとき 9月30日

定時株主総会 毎年6月  
 単元株式数 1,000株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 〒540-8639 大阪市中央区北浜4丁目5番33号

事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物の送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10

及び照会先 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-176-417

(URL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告方法 電子公告としております。

公告アドレス <http://www.fjx.co.jp> (当社ホームページ)

証券コード 3600

### 【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様の住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願い致します。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡下さい。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(証券保管振替機構)を利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届けは、上記の電話照会先をお願い致します。

なお、お手元の株式を売却するには、証券会社に口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

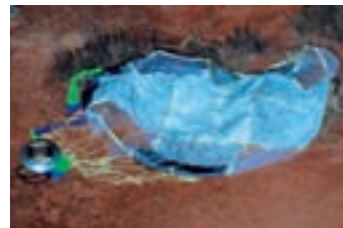
詳しいお手続きに関しましては、上記の電話照会先をお願い致します。

# 最近のトピックス

## 小惑星探査機「はやぶさ」の帰還用カプセルパラシュートに当社ミシン糸が使用されました

2010年6月、地球から3億キロ離れた小惑星「イトカワ」を探査し、奇跡的に地球に帰還した探査機「はやぶさ」の帰還用カプセルパラシュートに当社ミシン糸が使用されました。

この度、納入先の藤倉航装株式会社様が文部科学大臣及び宇宙開発担当大臣より感謝状を授与されたことに伴い、藤倉航装様から当社に感謝状を頂戴致しました。



帰還したカプセルとパラシュート  
(提供 JAXA)

## 東北物流センターを開設

当社グループ3社（当社、(株)FTC、(株)シオン）は、秋田県横手市に新たに物流拠点（フジックスグループ東北物流センター）を開設し、7月4日より営業を開始致しました。

国内縫製市場において大きな市場の一つと位置付けられる当地域に物流拠点を開設することにより、グループとしての事業競争力の強化と販売シェアの拡大を図って参ります。



フジックスグループ東北物流センター

## 中国上海市の孫会社が営業開始

(株)FTC100%出資の子会社（当社孫会社）「上海福拓線貿易有限公司」が営業を開始し、8月に開業式典を行いました。

同社は、自動車産業の生産拠点として今後も拡大が期待できる中国において、カーシート用ミシン糸等の販売を行って参ります。

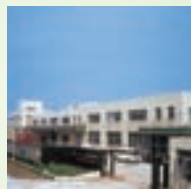


開業式典（8月5日）

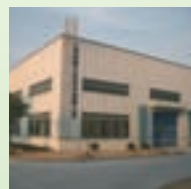
# フジックスグループNetwork

★営業部門

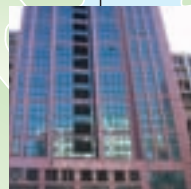
●生産部門



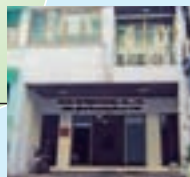
上海富士克制線有限公司



上海新富士克制線有限公司  
大連分公司  
南通事務所  
広東事務所  
南京事務所  
寧波事務所  
青島事務所  
北京事務所



富士克國際(香港)有限公司



FUJIX INTERNATIONAL Co.,Ltd.

★北京

★大連

★青島

★南京

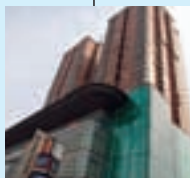
★南通

●上海

★寧波

★広東

★香港



上海富士克貿易有限公司  
上海福拓線貿易有限公司



当社東京支店(仮事務所)  
(株)FTC東京支店(仮事務所)



東北物流センター  
(株)シオン

★秋田

★東京

★甲府

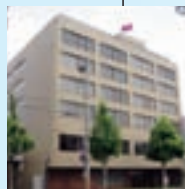
★福井

★滋賀

★京都

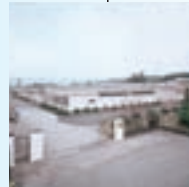
●四日市

★岐阜

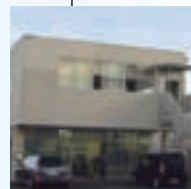


当社本社

(株)FTC  
東京支店  
三重事業所  
岐阜事業所  
福井営業所



当社滋賀事業所(工場 物流部門)



(株)ニットマテリアル

★バンコク

### 当社ホームページのご案内

財務情報をはじめとした会社案内や会社情報、製品情報、様々なアイテムの簡単な作り方を紹介する「手づくりレシピ」、糸の種類や選び方をわかりやすく解説する「糸のキソ」など様々なコンテンツをご用意しております。是非ご覧ください。  
<http://www.fjx.co.jp/>



会員制コミュニティーサイト『できるよ.com』のご案内  
できるよ.comは会員制のコミュニティーサイトで、会員同士の情報交換や自分の作品を掲載できるページ、また、初心者でも簡単に様々なアイテムが作れる“手作りお助けソフト「Fデザイン」”を無料でダウンロードできます。  
会員の皆様には、京都の観光・グルメ情報など「京都よもやま通信」をメール配信しております。  
<http://www.dekiruyo.com/>

